

ETFは世界中で約5,900本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.1兆ドル（約330兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

## 2016年4月のETF資金流入

2016年4月の世界のETFへの資金流入は、111億ドル（約1.2兆円）の流入となりました。

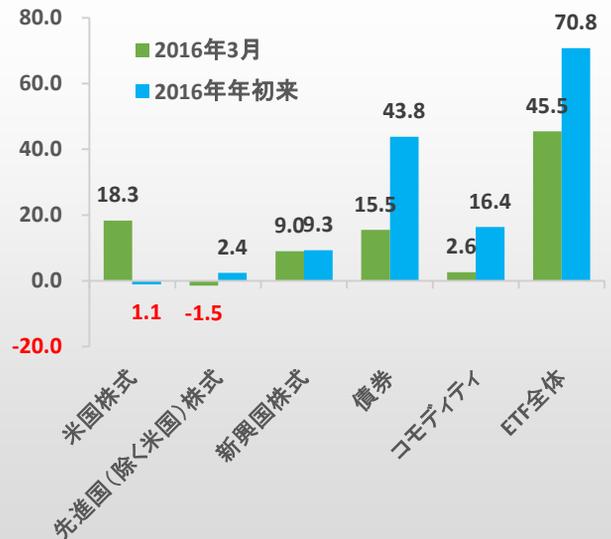
米国株式ETFは115億ドルの流入となりました。今後の決算シーズンを見極める動きにより先月の勢いは落ち着き、リスクを抑えた銘柄が資金を集めました。特に価格変動リスクを抑えた銘柄選定を行う最小分散ETFは34億ドルの流入、3ヶ月連続30億ドル超の流入となりました。一方、欧州及び日本はそれぞれ63億ドル、78億ドルの資金流出となりました。

新興国全域の株式を対象とするETFは、ドル安、先進国の低金利状況やコモディティ価格の落ち着きにより流入が継続し、31億ドルの資金流入となりました。この動きは新興国債券ETFへの資金流入も後押ししました。（次項参照）

債券ETF全体は84億ドルの資金流入となりました。投資適格社債は引き続き45億ドルの流入、より価格変動が大きいハイ・イールド債券は3億ドルの流入に留まりました。米国、欧州国債は共に31億ドル、22億ドルの流出となりましたが、物価連動債は17億ドルの流入となりました。

コモディティETFは7ヶ月ぶりの資金流出となり、金ETFは3億ドルの資金流出となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

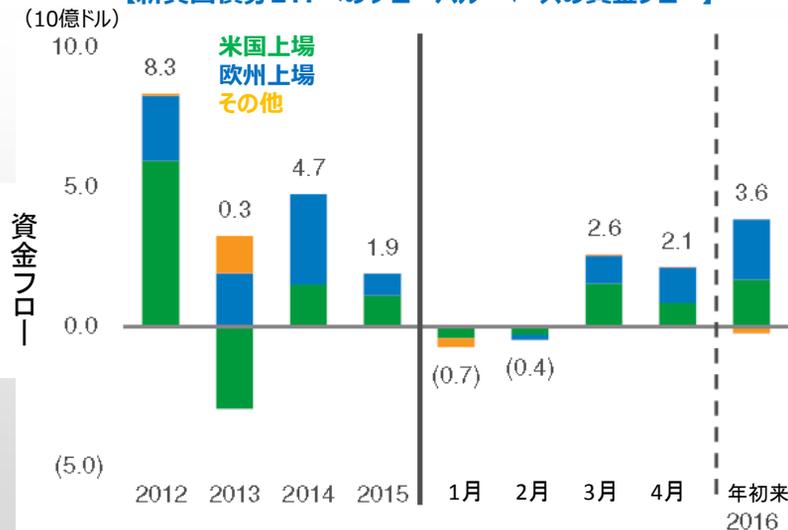


出所：「BlackRock Global ETP Landscape Apr 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

## ETFから見る世界の投資家動向

【新興国債券ETFへのグローバル・ベースの資金フロー】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape Apr 2016」

前述の通り、4月のETF市場では、新興国債券ETFへ資金流入が見られました。新興国債券ETFの資金流入は新興国株式と同様に、年初来回復基調にあります。以下に注目点を記載いたします。

- 1) 4月の新興国債券ETFへの資金流入は21億ドルとなり、3月に続き資金流入超となりました。3月、4月共に単月で2015年の年間資金流入額を超えており、また年初来の資金流入は、過去4年で資金流入が最も多かった2012年の流入の半分近くとなりました
- 2) 先進国国債の利回りが記録的低水準で推移する中、より高い利回りを求める投資家が新興国債券に注目していると考えられ、年初来から36億ドルの資金流入となっています（※）
- 3) 2016年年初からの新興国債券への資金流入は、主に米ドル建てETFに集中していますが、現地通貨建てETFにも昨年を倍以上上回るペースの流入があり、12億ドルの資金が集まりました

※新興国市場への投資を検討される際は、先進国市場と比べ政治的不安定等により価格変動がより大きく投資リスクが高くなる点にご留意ください。

**ETFの主な投資リスクについて**

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

**手数料、費用等について**

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

**ブラックロック・ジャパン株式会社**

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） [www.blackrock.com/jp/ishares](http://www.blackrock.com/jp/ishares)  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号  
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会